

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 坂本 偉健	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	北東アジア地域自治体との連携		
目的	(1) 対象	友好関係にある北東アジア地域自治体	
	(2) 意図	友好関係の強化	
事業概要	北東アジア地域との交流等を行うことにより、北東アジア地域とのネットワークの構築及び北東アジア地域に対する県民の理解を図る		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	相互派遣回数などの直接的な接触回数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		14.00	12.00	12.00	12.00	
式・定義	相互派遣回数+NEAR出席	実績値	16.00	17.00	13.00	16.00		回
		達成率		121.40	108.30	133.40		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	22,202	20,314
うち一般財源(千円)	17,485	15,597

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

26年度は、吉林省との友好交流の覚書締結20年という節目の年であり、また、北東アジア地域自治体連合（NEAR）に職員派遣を行ったこともあり、前年度に比して行き来が活発であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

吉林省との20周年を契機に、吉林省負担による吉林大への留学制度が始まるなど新しい事業もスタートした。また、NEARへの職員派遣を通じ、協議回数が増え、より効果的な組織運営につながった。寧夏については、JICA支援による技術協力事業が8年目を迎え、プロジェクトが深化した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

韓国慶尚北道との交流が中断していること。

②困っている状況が発生している「原因」

領土問題が原因。

③原因を解消するための「課題」

領土問題とは切り離して住民同士の交流を進めることの理解を求めることが課題。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

慶尚北道については、過去の当県への派遣職員やNEARの活動、さらに民間交流事業等を通じて、両県道のパイプを維持しながら関係改善を地道に粘り強くすすめて行く。その他の地域については、青少年交流や民間団体や企業等が実施する交流を継続して続けて行く。特に周年という節目を迎える年には、記念事業を行うことで、両自治体の連携を深め、さらなる相互理解につとめる。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）